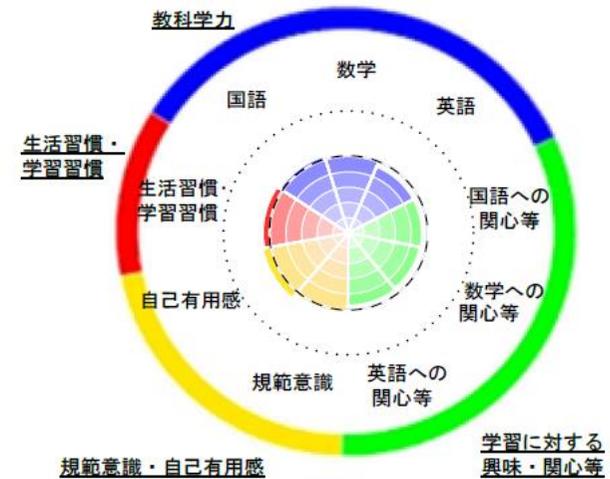


(1)学力調査結果から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策
国語	○「読むこと」について、選択式・記述式ともに正答率が全国・県を上回り、全体的に力が付いている。 ○「書くこと」のうち、文章を読み返し、語句や文の使い方を検討することについての力が付いている。 ●話し合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつことについては、正答率が低く、無回答率も高い。 ●封筒の書き方を理解して書くことに課題がみられる。	・ペアやグループ活動の前の段階で、自分の考えをもたせる指導を工夫し、話し合いの中で他の考えに多く触れたり、自分の考えを深めたりすることができるようにする。 ・封筒や手紙の書き方については、取り立てて指導する以外に、総合的な学習の時間等で必要に応じて実際に発送する機会をとらえて指導し、身に付けることができるようにする。
数学	○全体的な正答率としては、全国並みである。 ○「数と式」「図形」「関数」についての記述式問題では、全国のポイントを上回っており、数学的な見方・考え方を述べて説明する力は高い。 ○まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解する力も付いている。 ●数の集合と四則計算の可能性についての理解には課題がある。 ●反比例の表から、式を求めることについては課題がある。	・既習事項の復習を行うことで、基礎・基本の定着を図り、新たな学習内容に関連を持たせるよう指導を工夫する。 ・家庭学習につながるような授業づくりや宿題の提示を行い、学習の定着を図る。 ・記述問題に対する強みを生かすため、既習事項とのつながりが明確な発展課題の提示を工夫する。
英語	○「読むこと」については全体的に正答率が高く、簡単な語句や文で書かれたものを正確に読み取る力が全国平均を大きく上回っている。 ○まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解する力も付いている。 ●全体的に「聞くこと」「書くこと」について課題がみられる。 ●記述式問題については、全国・県平均に比べて正答率が低い。また、無回答率も全国並みに高く、課題である。 ●教室英語を理解して、情報を正確に聞き取る力に課題がみられる。	・デジタル教科書等により、正確な発音に触れる機会を一層充実させる。 ・聞き取ったことに対して正しく返答するようなコミュニケーションの指導を図る。 ・読んだことをもとに自分の考えをもたせたり、既習事項を利用し、様々な表現で書く指導を工夫する。

(4)学力調査及び生活意識調査から見られた傾向(破線は全国平均)



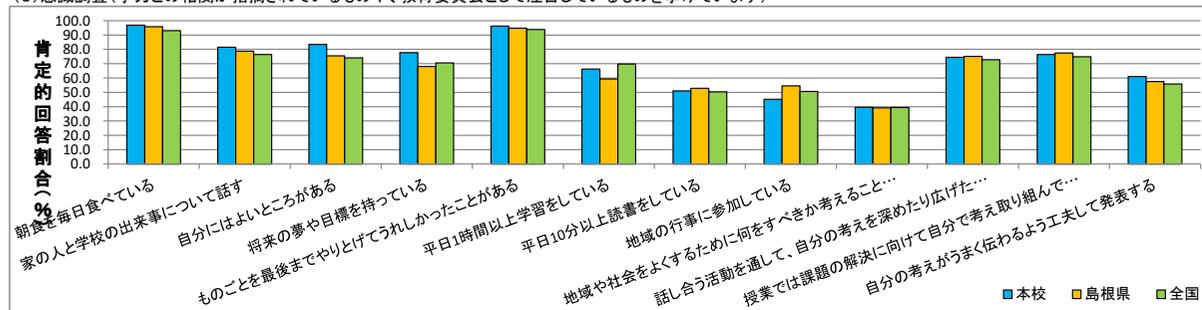
(2)生活意識調査から見られた傾向

	成果と課題(○:成果, ●:課題)	対策
	○「自分にはよいところがある」「将来の夢や目標を持っている」に対し、肯定的に解答している生徒が全国や県に比べると比較的多い。 ○自分の考えが伝わるよう工夫して発表する生徒の割合が高い。 ●家庭学習については、全国平均に比べると割合が低く、家庭学習の習慣化に依然として課題がみられる。 ●地域の行事に参加している生徒の割合が低く、地域に対する関心があまり高くない傾向にある。	・総合的な学習の時間やキャリア教育、職場体験学習等の、地域に対する調査や貢献を通して、より一層自己肯定感を高めていく。 ・家庭学習と授業とをより結び付けた学習のあり方を検討する。 ・家庭での「自学」の進め方について困っている生徒への支援を工夫する。

(5)その他、今後特に力を入れて取り組むこと

・学習に対する興味、関心をより高めている授業の工夫 ・小中一貫教育の一層の推進 ・「協同学習」の継続
--

(3)意識調査(学力との相関が指摘されているものや、教育委員会として注目しているものを挙げています)



【参考】

○平均正答率

	本校	松江市	島根県	全国
国語	74	73	73	72.8
数学	60	60	57	59.8
英語	52	54	53	56.0

(96)

受検者数 154人
 ※欠席等により調査によって受検者数が異なる場合は、最少の受検者数をもって表示しています。